

2020年2月6日

**FY2019(2020年3月期)
第3四半期(10-12月)
決算説明会資料**

株式会社 島津製作所
取締役 上席専務執行役員 古澤 宏二

内容

- ① F Y 2019 3 Q 決算
- ② F Y 2019 3 Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料

内容

- ① **F Y 2019 3 Q 決算**
- ② F Y 2019 3 Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料

決算ハイライト



計測は増収増益

北米、その他アジアが好調で、計測セグメントは増収増益を確保

重点機種（計測）5%増

重点機種は、日本・北米・インドで好調に推移し5%増（為替影響除く）

*重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析計（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

ターボ分子ポンプ^o（産業）復調

半導体市況の回復により、ターボ分子ポンプが5四半期ぶりに増収

損益計算書

- 売上高 926億円（前同差▲27億円、前同比▲3%）
- 営業利益 101億円（前同差 横ばい）

単位：億円		3Q		前同比	
		FY2019	FY2018	差額	増減率
業績	売上高	926	954	▲27	▲3%
	営業利益	101	101	▲0	▲0%
	営業利益率	10.9%	10.6%	+0.3pt	-
	経常利益	107	98	+9	+9%
	親会社株主に帰属する当期純利益	81	66	+16	+24%
為替	平均レート：米ドル（円）	108.8	113.0	▲4.2	▲3.7%
	ユーロ（円）	120.4	128.8	▲8.5	▲6.6%
主要投資	研究開発費	37	38	▲1	
	設備投資額	22	37	▲16	
	減価償却費	33	30	+3	

為替影響

売上高 : ▲21億円
営業利益 : ▲5億円

為替感応度

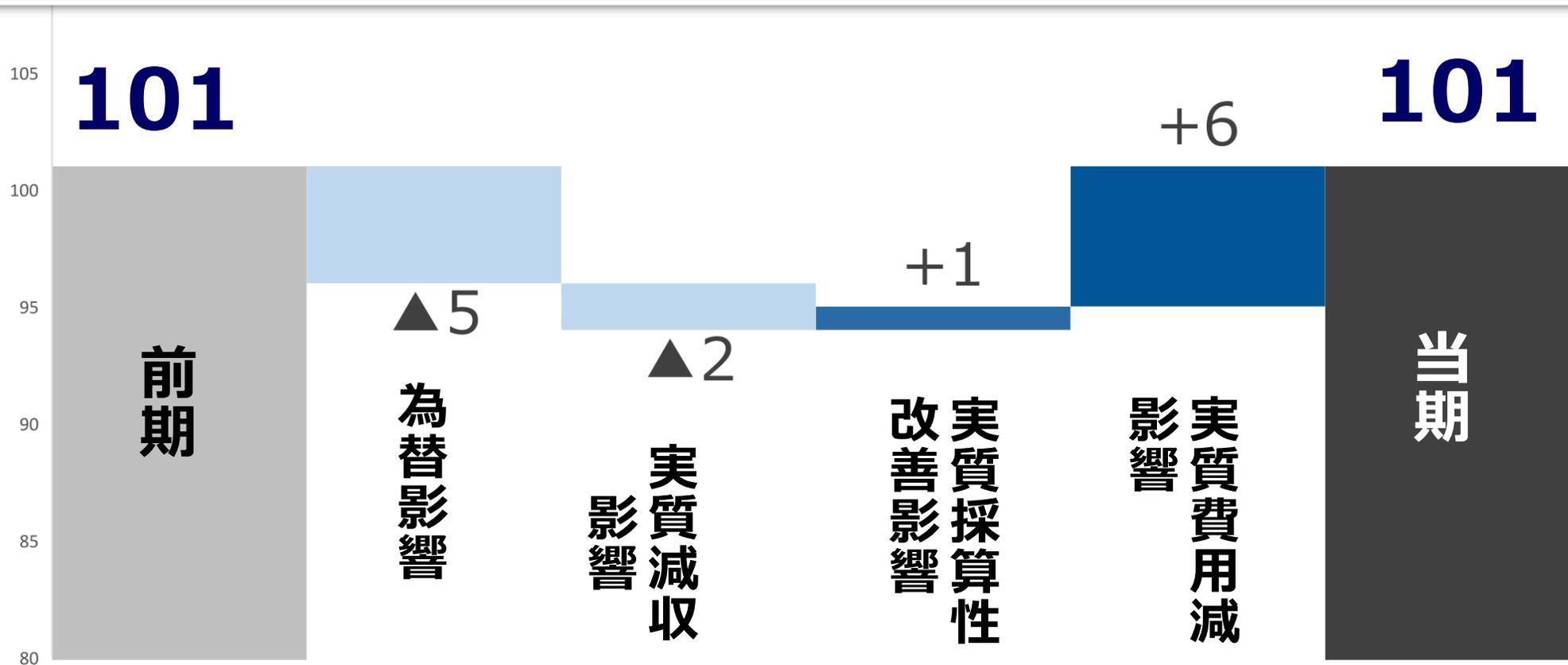
売上高 営業利益

USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

* 研究開発費
製造経費と販管費を合算しています

営業利益増益要因

- ・ 為替影響は▲5億円
- ・ 為替影響を除いた実質減収影響は2億円
- ・ 実質採算性改善は1億円、実質費用減は6億円



セグメント別損益

- ・ 計測：増収に加え、プロダクトミックス改善による採算性向上・経費削減により増益
- ・ 医用：日本の駆け込み需要の反動、中国の停滞などにより減収減益
- ・ 産業：TMPは復調したものの、油圧、ガラスワインダが減少し減収減益
- ・ 航空：減収となったが、コストダウンによる採算性向上・経費削減などで増益

単位: 億円	売上				
	FY2019	FY2018	前同比		
			差額	増減率	除為替
計測	591	582	+9	+1%	+4%
医用	154	165	▲10	▲6%	▲4%
産業	107	113	▲6	▲5%	▲4%
航空	61	69	▲8	▲12%	▲11%
その他	13	25	▲12	▲48%	▲48%
調整額					
合計	926	954	▲27	▲3%	▲1%

営業利益				
FY2019	FY2018	前同比		
		差額	増減率	除為替
95	89	+6	+6%	+11%
▲1	2	▲4	-	-
10	11	▲1	▲8%	+0%
1	▲0	+2	-	-
2	5	▲3	▲55%	▲55%
▲7	▲6	▲0	-	-
101	101	▲0	▲0%	+5%

営業利益率			
FY2019	FY2018	前同比	
		増減	除為替
16.1%	15.4%	+0.7pt	+1.0pt
▲0.8%	1.5%	▲2.2pt	▲1.7pt
9.4%	9.7%	▲0.3pt	+0.4pt
2.0%	▲0.5%	+2.5pt	+2.2pt
12.7%	17.4%	▲4.7pt	▲4.7pt
10.9%	10.6%	+0.3pt	+0.6pt

* 売上は外部売上
営業利益率は外部+内部売上/営業利益で算出

- ① F Y 2019 3 Q 決算
- ② F Y 2019 3 Q セグメント別業績**
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料

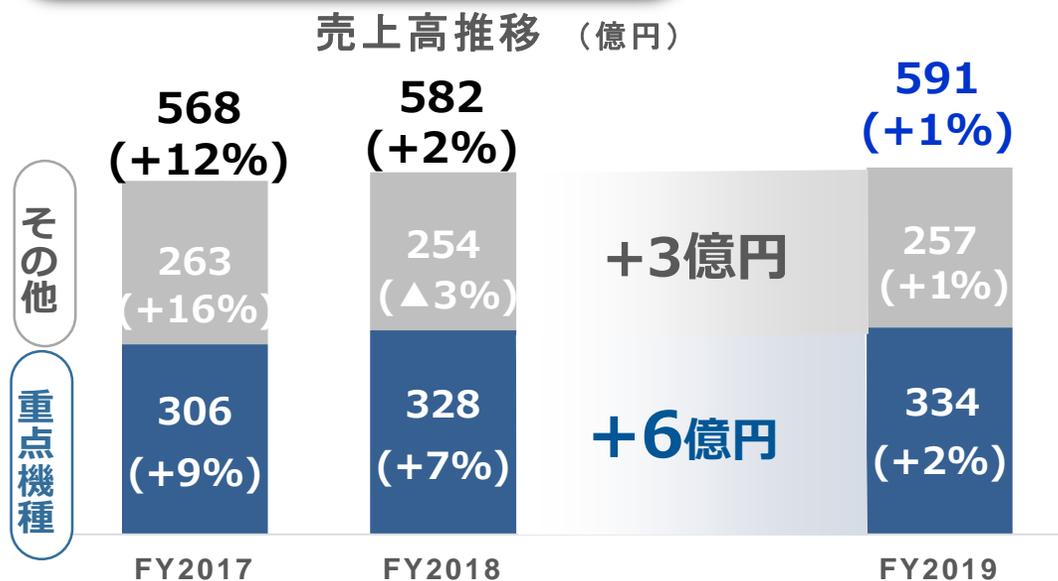
計測機器/サブセグメント売上高

- 重点機種 334億円 : +6億円 (+2%) : 日本・北米・インドが好調、欧州・東南アジアが停滞
- その他 257億円 : +3億円 (+1%)
- AM売上 190億円 : +10億円(+6%) AM比率32% : +1ポイント

*重点機種 : 液体クロマトグラフ (LC)
質量分析計 (MS)
ガスクロマトグラフ (GC)

*AM=アフターマーケット

計測機器 売上高 推移 (億円)



()は前同比 円ベース

計測機器製品

その他	 試験機	 水質分析計	 全自動LCMS前処理装置	 紫外可視分光光度計
重点機種	 液体クロマトグラフ Nexera	 LCMS-9030	 Nexis GC-2030	 GCMS-QP200 NX

計測機器/地域別売上高

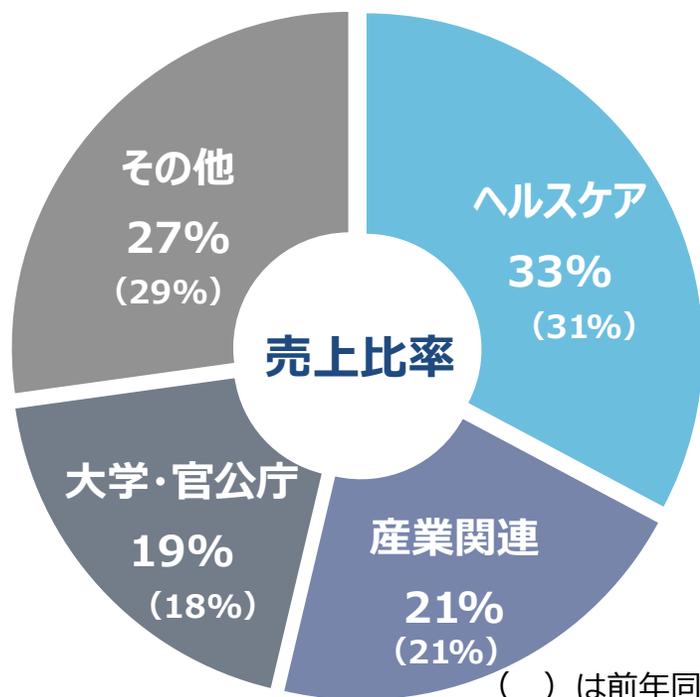
- ・ 日本：+0% 重点機種は好調だが、電機・機械向けが減収
- ・ 海外：+6% 北米、インドが拡大。中国は増収に転じる
- ・ 海外売上高比率：64% 前年同期横ばい

	FY2019	FY2018	増減額	増減率	為替影響 除く	概況
日本	212	212	+0	+0%	+0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点機種は好調 ・ その他機種は電機・機械向けが軟調で減収
北米	73	65	+8	+12%	+16%	<ul style="list-style-type: none"> ・ カナビス向けが好調に推移したことに加え大学が拡大
その他 アジア	71	68	+3	+5%	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託分析向け、製薬向けが拡大したインドが牽引
中国	145	145	+1	+1%	+4%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・製薬向けが拡大
欧州	66	69	▲3	▲4%	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロシア好調が継続

計測機器/市場別売上高比率

- ・ヘルスケア : 製薬がグローバルで増収
- ・大学・官公庁 : 大学が北米・中国・欧州で増加
- ・産業関連 : 日本の電機・機械向けが減少

市場別売上構成比

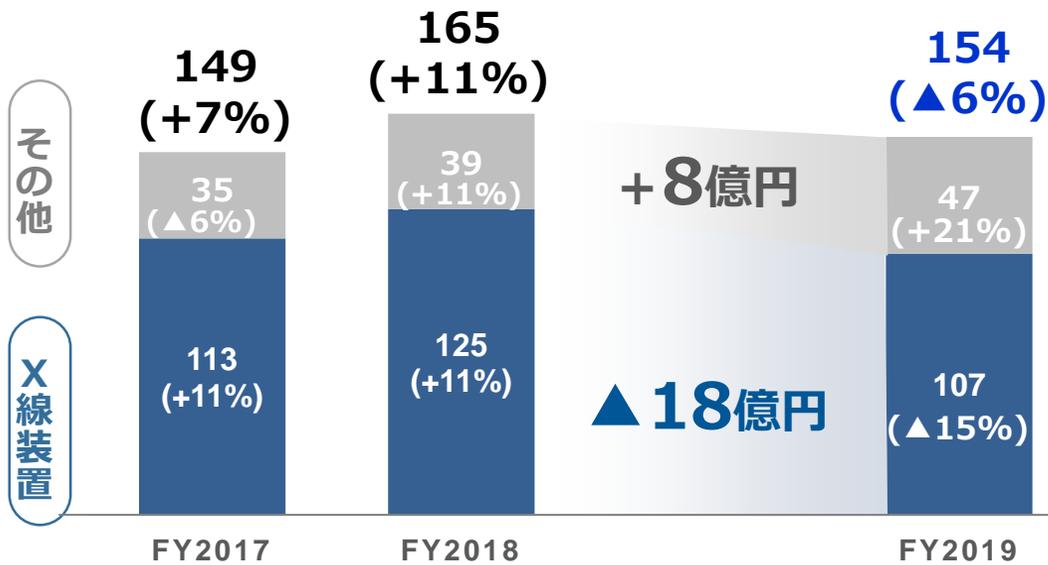


市場と主な業界	前同比	概況
ヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> ・医薬・食品 ・医療機関 	+4%	・製薬はグローバルで増加
産業関連 <ul style="list-style-type: none"> ・化学・素材 ・電機 ・自動車 	▲3%	・日本の電機・機械向けが減少
大学・官公庁	+3%	・大学が北米、中国、欧州で増加

医用機器/サブセグメント売上高

- ・ X線装置 107億円：▲18億円（▲15%）
血管撮影システムは拡大継続。一般撮影、X線TVは日本の駆け込み需要の反動などで減収
- ・ その他 47億円：+8億円（+21%）放射線治療関連装置などが貢献
- ・ AM売上 47億円：▲2億円（▲3%） AM比率31%：+1ポイント

医用機器 売上高 推移（億円）



()は前同比 円ベース

医用機器製品

その他



マンOPETシステム



近赤外光
カメラシステム



近赤外光
イメージング装置



放射線治療
関連装置

X線装置



X線一般撮影システム



回診用装置



血管撮影システム



X線TVシステム

医用機器/地域別売上高

- ・ 日本：▲2% 消費増税後の駆け込み需要の反動
- ・ 海外：▲7% 中国の厳しい事業環境が継続
- ・ 海外売上高比率43%：前年同期▲2ポイント

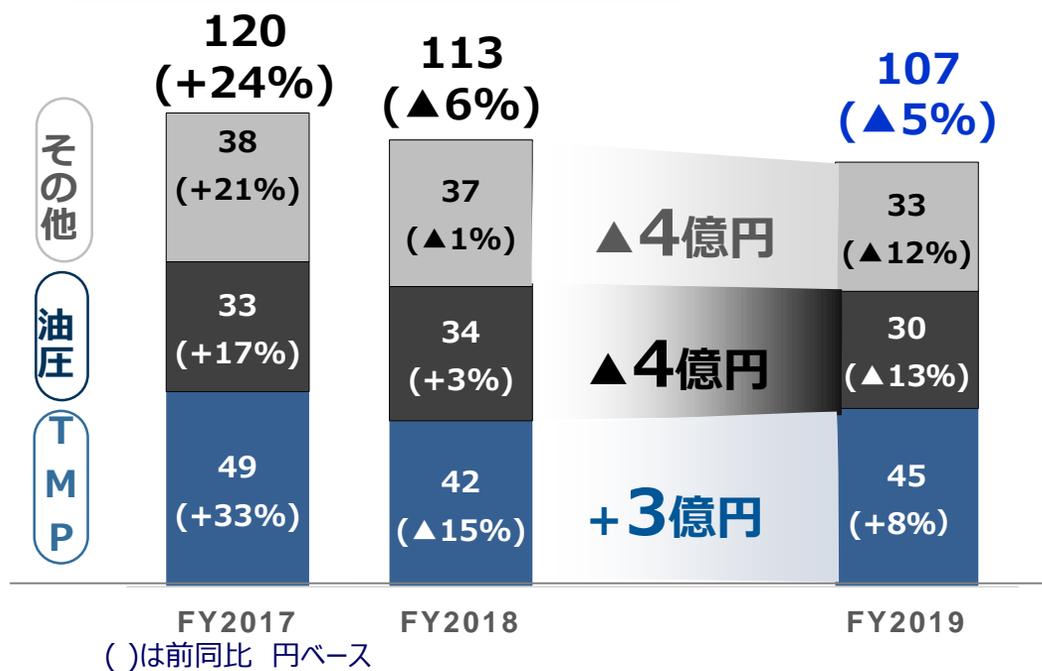
* 海外売上増減率は為替影響除く

	FY2019	FY2018	増減額	増減率	為替影響 除く	概況
日本	88	90	▲2	▲2%	▲2%	・ 消費増税後の駆け込み需要の反動などで減収
北米	15	15	+0	+1%	+5%	・ 血管撮影システムが、販路拡大・販促などの効果により拡大
欧州	11	12	▲1	▲4%	+2%	・ 西欧向けのデジタル回診車が貢献
その他 アジア	16	20	▲4	▲18%	▲16%	・ 前年大型案件の反動
中国	11	16	▲4	▲28%	▲26%	・ 入札遅延が継続、競争の激化

産業機器/サブセグメント別売上高

- TMP 45億円 : +3億円 (+8%) 半導体市場の回復により5四半期ぶりに増収
- 油圧 30億円 : ▲4億円 (▲13%) 日本が停滞
- その他 33億円 : ▲4億円 (▲12%) 真空熱処理炉は好調、中国の設備投資抑制でガラスワインダは減少
- TMP AM売上 8億円 : ▲0億円(▲1%) AM比率18% : ▲2ポイント

産業機器 売上高 推移 (億円)



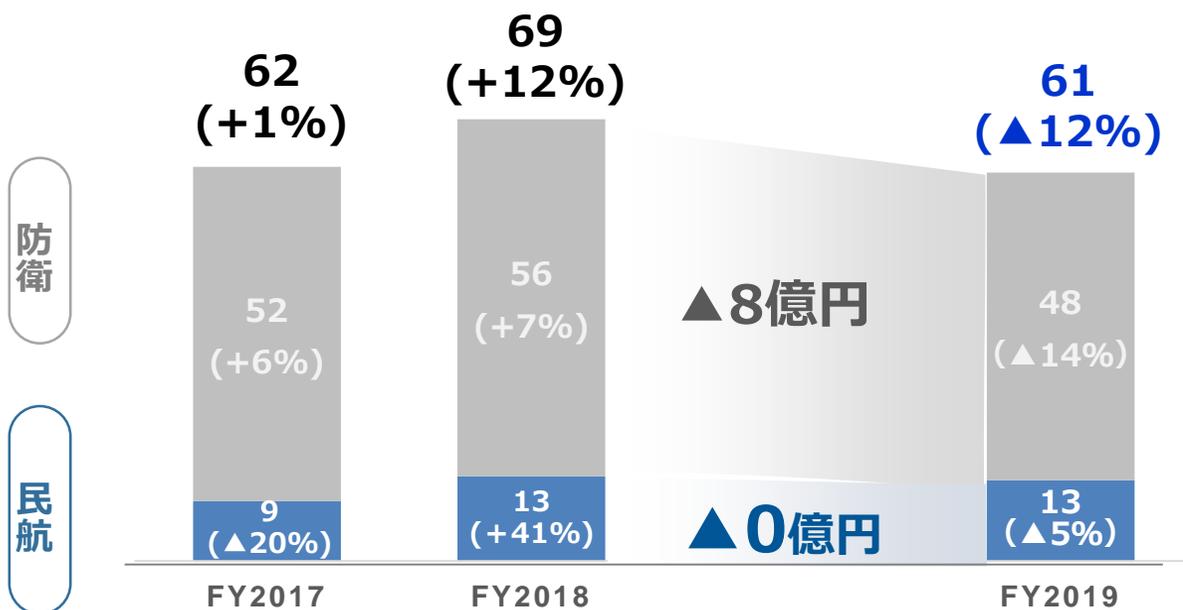
産業機器製品

その他	 真空熱処理炉	 ガラスワインダ	 高速スパッタリング装置
	TMP	 ターボ分子ポンプ	 油圧ギアポンプ

航空機器

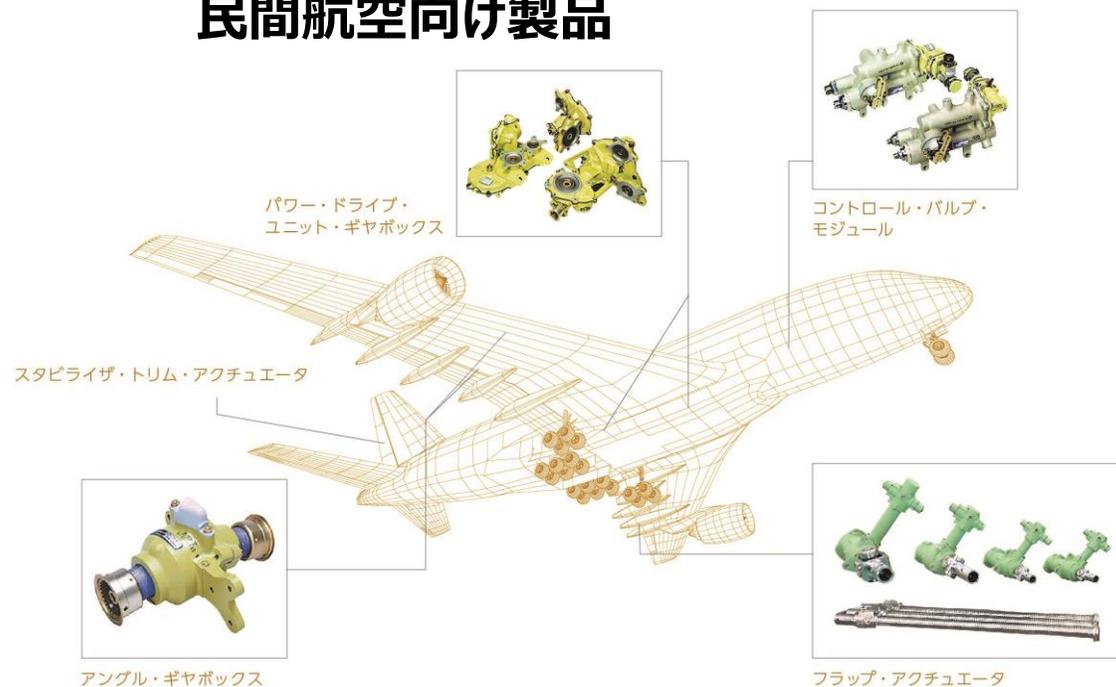
- ・民航 13億円：▲0億円（▲5%） ボーイング向け減少
- ・防衛 48億円：▲8億円（▲14%） 上期に売上に集中したことなどにより減少

航空機器 売上高 推移（億円）



()は前同比 円ベース

民間航空向け製品



- ① F Y 2019 3 Q 決算
- ② F Y 2019 3 Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想**
- ④ 補足資料

FY2019 通期予想

当第3 四半期連結累計期間における業績の進捗状況および世界経済の不透明感の高まりなどを勘案し、通期ガイダンスを下方修正

	単位：億円	通期			前期比		前回予想比
		FY2019	前回予想	FY2018	差額	増減率	差額
業績	売上高	3,950	4,100	3,912	+38	+1%	▲150
	営業利益	450	470	445	+5	+1%	▲20
	営業利益率	11.4%	11.5%	11.4%	+0.0pt	-	▲0.1pt
	経常利益	455	470	455	+0	+0%	▲15
	親会社株主に帰属する当期純利益	330	340	325	+5	+1%	▲10
為替	平均レート：米ドル（円）	108.0	107.0	111.0	▲3.0	▲2.7%	+1.0
	ユーロ（円）	120.0	120.0	128.4	▲8.4	▲6.6%	+0.0
主要投資	研究開発費	190	190	166	+24		
	設備投資額	220	220	217	+3		
	(減価償却費)	135	135	115	+20		

為替影響

売上高 : ▲52億円

営業利益 : ▲18億円

FY2019 通期予想 (セグメント別)

主に計測セグメントを中心に業績予想を見直し

単位: 億円	売上						営業利益						営業利益率				
	FY2019	前回予想	FY2018	前期比		前回予想比 差額	FY2019	前回予想	FY2018	前期比		前回予想比 差額	FY2019	当初予想	FY2018	前期比	
				差額	増減率					差額	差額					増減率	増減
計測	2,450	2,565	2,414	+36	+1%	▲115	395	415	388	+7	+2%	▲20	16.1%	16.2%	16.1%	+0.1pt	▲0.1pt
医用	700	710	691	+9	+1%	▲10	27	27	23	+4	+16%	+0	3.9%	3.8%	3.4%	+0.5pt	+0.1pt
産業	440	450	454	▲14	▲3%	▲10	37	37	45	▲8	▲17%	+0	8.4%	8.2%	9.8%	▲1.4pt	+0.2pt
航空	295	300	273	+22	+8%	▲5	8	9	1	+7	+572%	▲1	2.7%	3.0%	0.4%	+2.3pt	▲0.3pt
その他	65	75	80	▲15	▲18%	▲10	12	13	14	▲2	▲13%	▲1	14.5%	14.0%	14.1%	+0.4pt	+0.5pt
調整額							▲29	▲31	▲26	▲3		+2					
合計	3,950	4,100	3,912	+38	+1%	▲150	450	470	445	+5	+1%	▲20	11.4%	11.5%	11.4%	+0.0pt	▲0.1pt

- ① F Y 2019 3Q 決算
- ② F Y 2019 3Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料**

計測機器/重点機種前同比

	FY2017				FY2018				FY2019		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
全体	+7%	+8%	+9%	+10%	+12%	+3%	+3%	+2%	▲4%	+10%	+4%
重点機種	+5%	+12%	+5%	+13%	+4%	+0%	+8%	+2%	+5%	+7%	+5%

*重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析計（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

* 為替影響を除いています

計測機器/地域別売上高前同比

国	FY2017				FY2018				FY2019		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	+11%	+1%	+15%	+8%	+15%	▲1%	▲4%	▲1%	▲12%	+21%	+0%
北米	▲9%	+7%	+11%	+30%	+17%	+14%	+9%	+3%	+4%	▲5%	+16%
欧州	+9%	+8%	▲7%	▲7%	+11%	+7%	+19%	+8%	+1%	+19%	+2%
中国	+14%	+20%	+13%	+14%	+10%	+6%	+3%	+9%	▲8%	▲4%	+4%
その他アジア	▲7%	+9%	▲8%	+13%	▲2%	▲1%	+13%	▲2%	+19%	+11%	+8%
インド	▲10%	+24%	▲7%	+21%	+6%	▲7%	+4%	▲9%	+11%	▲3%	+27%

* インドはその他アジアの内数です

* 為替影響を除いています

医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2017				FY2018				FY2019		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	+9%	+0%	+1%	▲11%	▲1%	+16%	+19%	+6%	+6%	+30%	▲2%
北米	+2%	▲9%	+10%	+19%	+17%	▲3%	▲33%	▲24%	▲24%	▲17%	+5%
欧州	▲51%	▲3%	+75%	+96%	+190%	+31%	+22%	▲1%	▲26%	▲6%	+2%
中国	▲1%	+3%	+22%	▲7%	+1%	▲14%	▲5%	▲15%	▲33%	+5%	▲26%
その他アジア	+22%	+34%	▲8%	+24%	+11%	▲2%	+45%	▲28%	▲8%	+3%	▲16%

* 為替影響を除いています

産業機器/機種別売上高前同比

	FY2017				FY2018				FY2019		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
TMP	+59%	+34%	+30%	+16%	+14%	+0%	▲15%	▲29%	▲25%	▲26%	+10%
油圧	+11%	+9%	+15%	+7%	+6%	+1%	+4%	+1%	+2%	+1%	▲12%
その他	▲7%	+13%	+20%	+37%	+92%	▲9%	▲1%	+36%	▲37%	+19%	▲11%

* 為替影響を除いています

アフターマーケット(AM)比率

計測

	FY2017				FY2018				FY2019		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+10%	+14%	+8%	+6%	+18%	+14%	+15%	+11%	+3%	+6%	+6%
AM比率	30%	27%	28%	27%	31%	31%	31%	29%	34%	30%	32%

医用

	FY2017				FY2018				FY2019		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+2%	+6%	+1%	+2%	+4%	▲2%	+5%	+2%	+5%	+13%	▲3%
AM比率	33%	31%	31%	28%	32%	29%	30%	29%	35%	28%	31%

TMP

	FY2017				FY2018				FY2019		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	▲0%	+37%	+52%	+39%	+49%	+31%	+26%	+19%	+13%	+9%	▲1%
AM比率	11%	14%	13%	14%	14%	18%	20%	24%	22%	27%	18%



不安な胸に、やさしくありたい。

島津製作所が開発した、乳がん検査技術。
検出器ホールに乳房を入れるだけで、
小さな乳がんの兆しまで見分ける
世界最先端技術です。



世界に答えを。

 **SHIMADZU**
Excellence in Science



Shimadzu Corporation,
making tea work
for humanity.



High Performance Liquid Chromatographic
Mass Spectrometers

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど
様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp